

RAKAN
EN-NO-GYOJA
GYOKI
-The Genealogy of the Practitioners in the Mountain-

企画展

羅漢 役行者 行基

—山の修行者の系譜—

2024

11.23 [土・祝]

12.22 [日]

開館時間：9時30分～17時15分
(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日

観覧料：一般 200円(160円)
高大学生 100円(70円)
小中学生 50円(30円)

11月23日[土・祝]・11月24日[日]は、
「関西文化の日」のため無料でご観覧いただけます

*()内は20名以上の団体料金

*堺市在住・在学の小・中学生は無料

*堺市在住の65歳以上および障害がある方は無料(要証明書)

向かって右から時計回りに：国重要文化財「木造大日如来坐像」1 軀(河内長野市・岩湧寺蔵)、「木造蔵王権現立像」1 軀(中区・海岸寺蔵)、「行基菩薩十三歳像」1 幅のうち(部分、中区・華林寺蔵)、堺市指定文化財「法起菩薩曼荼羅図」1 幅のうち役行者(部分、南区・高倉寺蔵)、貝塚市指定文化財「釈迦三尊十六羅漢像」19 幅のうち(部分、貝塚市・吉祥国寺蔵)／背景：国重要文化財「十六羅漢像」16 幅のうち(部分、南区・法道寺蔵)

堺市博物館
SAKAI CITY MUSEUM

企画展

羅漢 役行者 行基

—山の修行者の系譜—

第1章 役行者と修行の山

飛鳥時代の伝説的な人物である役行者は、葛城修験や大峯修験を始めたとされます。堺市内のゆかりの仏像・仏画や、葛城修験の霊場・岩湧寺（河内長野市）の仏像を展示します。

第2章 山林修行者としての行基

池や橋の築造など、社会事業で知られる奈良時代の僧・行基について、南北朝～江戸時代に描かれた肖像画5点を展示し、山林修行者としてのイメージを探ります。

第3章 仏弟子・羅漢

釈迦の涅槃後（没後）に仏教を護ることを託された羅漢は、山林などで修行する姿で描かれます。法道寺（南区）と吉祥園寺（貝塚市）の十六羅漢像全35幅に取り囲まれる圧巻の展示空間を実現します。

【関連イベント】

学芸講座

講 師：当館学芸員

日 時：12月14日（土）14時～15時30分

参加費：無料、ただし展示場内への入場は要観覧料

定 員：80名、当日先着順

会 場：博物館ホールおよび展示場企画展コーナー

展示解説

日 時：12月8日（日）、12月21日（土）
各日14時～（約45分）

参加費：無料、ただし要観覧料

定 員：各日20名、当日先着順

会 場：展示場企画展コーナー

次回 2025年1月7日（火）～3月2日（日）
予告 企画展「堺のくらし大百科」

人里離れた山林は
俗塵から離れた清らかな地として
仏道修行の場となりました。
本展では仏教美術の優品を中心に
山林修行に励んだとされる
羅漢、役行者、行基に焦点を当て
展示します。



国重要文化財「木造大日如来坐像」
平安時代 河内長野市・岩湧寺蔵



「行基菩薩十三歳像」
江戸時代 中区・華林寺蔵



「木造前鬼像・後鬼像」
江戸時代 東区・野尻町内会蔵



国重要文化財「十六羅漢像」16幅のうち6幅 南北朝時代 南区・法道寺蔵
（上段左 第一尊者、上段右 第二尊者、中段左 第三尊者、中段右 第四尊者、
下段左 第五尊者、下段右 第六尊者）

MAP



【交通案内】

電 車：JR 阪和線「百舌鳥」駅下車 約500m

バ ス：南海高野線「堺東」駅から
南海バス（140系統で約10分）
バス停「堺市博物館前」下車 約280m

駐車場：大仙公園第3駐車場

（仁徳天皇陵古墳東南・有料）

駐輪場：堺市博物館出口側にあり（利用無料）

〒590-0802

堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内

TEL 072-245-6201 FAX 072-245-6263

HP <https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>

Facebook <https://www.facebook.com/sakaishihaku/>



堺市博物館
公式キャラクター
サカイタケルくん
© YABUUCHI Satoshi

堺市博物館
SAKAI CITY MUSEUM